



事業計画書概要版

共同企業体 大津つなぐプロジェクト



運営理念

▶スポーツを通じた「夢と希望がかなう 元気大津」の実現への貢献



第6次大津町振興総合計画を踏まえた体育施設が取り組むべき施策の方針・達成すべき目標



関係各所と連携して達成すべき目標				
目標指標 1	目標指標 2		目標指標 3	
町内関連団体と連携したスポーツ大会・合宿開催	運動公園利用者数		町民のスポーツ実施率 (20歳以上1週30分以上の運動)	
令和2年度 1件	令和2年度(町内) 82,592人	令和2年度(町外) 34,190人	令和2年度 51.0%	
令和7年度 5件	令和7年度(町内) 130,000人	令和7年度(町外) 70,000人	令和7年度 65.0%	

スポーツ参加率向上施策

生活スポーツ

～「健康と楽しみのスポーツ」の推進～

特徴

世代間に切れ目のない
バランスのとれた展開

総合体育館を拠点に他施設の
活用も視野に入れた展開



親子から高齢者まで全25種

競技スポーツ

～「夢と感動のスポーツ」の推進～

特徴

偏りのない種目設定による
選択の幅の確保

大会主催による経済効果への
波及をも視野に入れた展開



全17種目・10大会

年代別サッカー大会の主催

年代別に4つの大会を新設

ロアッソ熊本カップ U7～U9

ロアッソ熊本カップ U10～U12

ロアッソ熊本ジュニアユースカップ U13～U15

ロアッソ熊本ユースカップ U16～U18

保護者の帯同・観戦

宿泊



観光



飲食



土産



全カテゴリー合計
80チーム以上の参加を想定

サッカーのまち 大津をアピール

施設稼働率向上

新たな経済効果の創出



施設機能を活用した新たな取組

台地との接続による健康づくり

～大津町運動公園球技場のすばらしい芝環境を活用した大津町らしい取組～

